

新編武藏國風土記稿

多磨郡

卷之二百十上

和書門			
類	號	函	架
一六五〇	二二二	三	二五五
冊	冊	冊	冊

內閣文庫			
類	號	冊	函
一六五〇	二五五	七三	一九
冊	冊	冊	冊

內閣文庫			
番號	和	16510	
冊數	255(109)		
函號	173	210	



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



新編武藏風土記卷之二十一

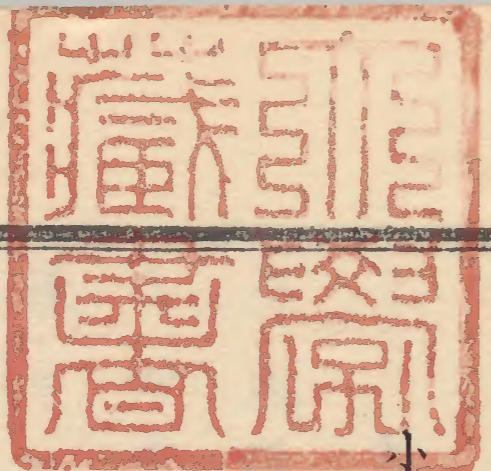
大分縣志卷之二十一

大分縣志
大分縣志
大分縣志

大分縣志

新編武藏風土記卷之一百十上目錄

多磨郡之七二ノ上



五日市村

入野村

浅草文库

新編武藏風土記卷之一百十上

多磨郡之二十二ノ上

大久野村

大久野村ハ郡ノ西ニヨリテアリ。江戸日本橋ヨリ
十四里ノ行程ナリ。御庄ノ唱ヘハ傳ヘザレト。古水
帳ニハ山ノ根筋小宮領トアリ。山ノ根ト云ハ郡中
西北ノ方。山々ニ近キ所ヲスヘテイヘリ。コノコト
已ニ郡ノ惣説ニ辨セシ所ナリ。又村内神明社。元龜
三年ノ棟札ニ武列多西郡大久野郷越地村トアリ。

コノ越地村ト云ハ。今村内ニ越地坂ト云アリ。スナ
ハチコノ邊リスベテ云シナルベシ。村名ノ起リハ
イニシヘ大久野ト云レ山伏エ、ニ住セシニヨリ
テカクトナヘリト。土人ハイヘト信ジガタシ。エノ
村モ隣村平井村ニ方ナジク土人等私ニワカチテ
三村トナシ。南ニヨリタル方ニ區ヲ上下大久野ト
イヒ。ノコル一區ヲ北大久野ト云。サレドソノ境界
ハ犬牙シテ辨レガタシ。村ノ四境。東ノ方平井村ニ
リヒ。西ハ養澤村及ビ御嶽山ヲ限トシ。南ハ深澤三
内伊奈等ノ數村ニツバキ。北ハ三田領ニテスベテ

山丘ヲ境トス。東西ノ長サ三里。南北ノワタリ一里
ニ餘レリ。地形ハ北ノ方高クシテ。南ハ漸クニヒキ
リ。中央ヲ大久野川東西ニツラヌキ流レテ。南北ニ
區ニ分レタリ。モトヨリ山丘ノ地ナルヲモテ。土性
蕪惡ニシテ五穀ノ生殖ニヨロシカラス。水田ハ十
分ノ三ニテ。陸田多ク水旱ノ患アリト云。民家三百
九十軒。ソノ内百二十六軒ヲ上村トシ。八十一軒ヲ
下村トシ。百八十三軒ヲ北村トス。當村古キヲハ考
フヘキモノナシ。御入國ノ後ハ御料地ニテ正保
ノ比ハ福村長右衛門カ御代官所ト。天正寺西福寺

ノ領入會ノ村ナレヨレモノニ見タリ。寛文七年兩
宮勅兵衛檢地シ。リノ後ニナリ御料地ナリシニ。延
享四年田安殿ニ賜ヒレヨリ今モカハテス。

高札場三ヶ所 一ハ上大久野ノ内。字新井ニアリ。
一ハ下大久野ノ内。字落合ニテ。一ハ北大久野ノ
内ニアリ。

小名

新井 村ノ中ホトヨリ少シク東ニヨレ
リ。コノ所ノ畑中ニ石地藏アリ。長三尺

バカリニテ。ワヅカナル堂ノ内ニ安ヒ
リ。土人ノ説ニモトハイト古キ石像ニ
テアリシカ。明和年間盜ニウバヒサウ
レシカハ。又新ニ像ヲツクリテヲケリ
ト云。近里ノ人コレヲヨヒテ新井ノ地
藏トイヘリ。

幸神 コレニ東ニヨリテ大久野川ノ南
ニアリ。

岩井 幸神ノ西ノ方ナリ。
肝要 村ノ中ホトニテ道灌澤ノ邊ヲ云。

古ハ神入ト書シヨシ。エノ所ニ御嶽山ノ遥拜殿アリレトテ今モソノ遺蹟アリ。

松尾 肝要ノナラビニアリ。

三ツ澤 コレモ同レ並ニテ西ニヨレリ。

以上六ヶ所ハ上大久野ニ属シタル地ナリ。

羽生 村ノ東南ノ方ヲ云。

萱窪 羽生ノ邊ニテ大久野川ノ北ニアリ。古ヘエノ邊ニ能仁寺ト云寺アリシ

カ後廢セリ。又柵泉庵トイヘル庵室モアリシカ。安永年中洪水ノトキ。境内除地トモニ流失シテ今ハ名ノミノコレナリ。

落合 東ニヨレリ。

細尾 村ノ中央ヲ云。以上ノ四所ハ下大

久野ノ小名ナリ。

水ノ口 東北ノ方ヲ云。

坂本 水ノ口ノ東南ニアリ。エハニ阿弥

陀堂アリシカ。イツノ頃カ廢セリト云。

ソノ像ハ鑄物ニテ今村ノ百姓文光衛
門コレヲ持傳ヘリ。
玉ノ内谷 坂本ノ南ノ方川ノ向ニアリ。
坪平 坂本ノナラビニアリ。
落合 坪平ノ東ナリ。
北ツ原 坪平ノ南方ナル川ノ向ニアリ。
長井 北原ノ西北ニアリ。以上ノ小名ハ
北大久野ノ内ナリ。

山川

南 大久野川 村ノ西ノ方三ツ澤入ナル萱山ノ窮
谷ヨリナカレ出。又所々ノ澗水モ落合テ一條ノ
ナカレトナリ。東ノ方上平井村ニ達ス。當村ニカ
、ルヲ屈曲ニテ。凡ニ里餘。川幅ハヒロキ所ニテ
三間ニアルヘシ。コノ川イカナルエヘニヤ新井
ト云。邊ニ至リテ水地下ヲク、リ。全伏流トナリ。
又水地中ヲ行リ常ノ川ニ異ナラス。サレバ伏流
ノ間平常ハ川ノカタチノミニシテ水ハ涸タレ
如ク見エシト。夏雨秋霖等ニテ水カサマシタル
トキハ。カノ伏流ノ所ニオシテ一連ノナカ

レトナレリ。

北大久野川 村ノ北ノ方梅ヶ谷ノ山隈ヨリナカ
レ出シ。東流シテ南大久野川ニ入ル。水路凡一里
半。川幅ヒロキ所ニテ二間餘ナリ。

幸^{サチ}神澤川 村ノ東勝雄山ノ南ヨリ湧出シ。北流シ

テ大久野川ニ合ス。エノ以下ノ川ハミナワツカ

ナレ細流ニシテ。未ハ大久野川ニカチ入レリ。

不動澤川 西ノ方ナル山間ヨリ出テ北ニナカレ

リ。

細尾澤川 西ノ方細尾ト云所ノ山間ヨリ湧出シ

テ東流ノ川ナリ。

谷光澤川 細尾邊ナル谷光澤ト云ヨリ出テ南ニ

ナカレ。

将^{マサカ}門澤川 エレモ同シ邊將門坂谷ヨリ出テ南へ

ナカレ。

肝要入澤川 西ノ方字横ハカ山ヨリ出テ北ニナ

カレ。

道灌澤川 前ノツ、キ薬師堂入ト云所ヨリ湧出

テ南ニナカレ。

松尾澤入川 字萱野山中ノサスト云所ヨリ出テ

コレモ南ニナカル。

樽窪澤川 前ノナラヒ字阿曾尾ト云所ヨリ出テ
東ニナカレリ。

三ツ澤入川 字三ツ澤ヨリ湧出シ南ニナカル。

滝本川 萱野山ヨリ出テ南流トナリテ三ツ澤川

ニ合ス。

焼岩川 コレモ同邊ヨリナカレ出。東シテ三ツ澤

川ニ入ル。以上ノ三流合シテ一條ノナカレヲナ

スユヘ。三ツ澤ノ名方エルトイヘリ。

大谷澤川 字大谷ヨリ湧出スルヲモテ夕、午ニ

名トストイヘリ。字檜山路ト云所マテ東流シテ

大久野川ニツ、ル。

小^{シヤク}澤川 良ノ方浅間山ノ下ヨリ涌出シ。南ニナ

カレテ白倉澤川ニ合ス。

白倉谷川 北ノ方白倉谷ノ邊ヨリ出テコレモ南

ヘナカレ。

坂本澤川 班テ峰ト云所ヨリ涌出シ。コレモ南ヘ

ナカレ。

山中澤川 字玉ノ内谷ノ邊馬引澤ト云所ヨリナ

カレ出シ。東南ノ方ヘナカレテ玉ノ内川ニ入ル。

谷^ヤ後^コ山澤川 村ノ北ニツ塚峠ノ邊ナル柳澤ト云
所ヨリ出テ南ニナカレ。エレモ未ハ玉ノ内川ニ
合セリ。

玉ノ内川 エノ川ハ山中澤。谷^ヤ後山澤。ニ流合ヒテ
ヨリ下流ノ呼名ナレトモ自ツカラ一ツノ川ノ
名トナセリ。サレド玉ノ内ト云ハ山中澤川ノ涌
出ル地ノ小名ニモテ。ソノ名ヲオヒタレバ。昔ハ
山中澤ヲ通シテ玉ノ内川ト唱メラシム。後ニニ
名ニワカク始メレナラシ。

白岩ノ滝 西ノ方樽久保入ノ邊ニアリ。水源ハ河

曾尾ト云所ヨリ涌出シ。東ニナカレテ滝口ニ至
ル。滝長六丈ハカリアリテ三段ニ分レテ落ツ。ソ
ノ兩岸ハソヒヘ立タル巖石ニシテ。尤ノ方五六
十丈。右ノ方十丈ニアマル。エノ岩冬ニ至レハ飛
水水テ白色ヲ帯レラヒテ。白岩ノ滝トハ呼ヒ習
ハセリト云。

焼ケ岩ノ滝 小名ニツ澤ニアリ。水源ハ萱野山ノ
邊ヨリ涌出シ。東ニナカレテ滝口ニ至ル。滝口ハ
峙タル巖石多クシテ。飛瀑ノ長五丈ハカリナリ。
滝ニケ取 一ハ村ノ西長井ト云所ニアリ。水源ハ

滝ノ津ノ山上ヨリナカレ出テ。長三丈ハカリノ
 滝トナレリ。一ハ村ノ北水ノ口ニアリ。土人水ノ
 窪滝ト稱ス。コノ水源ハ白倉ノ山上水ノ窪ヨリ
 涌出シテ。一丈二三尺ハカリノ滝トナレリ。
 梅ヶ谷峠 村ノ西方ニアリ。上リ四丁許リノ峠ニ
 テ下村へ通フノミチナリ。
 ニツ塚峠 村ノ東北小名玉ノ内ヨリ駒木野村ニ
 達スル青梅道ノ筋ニアリ。上リ十町餘。
 白倉峠 村ノ西北ニアリ。上リ五六丁ハカリ。コレ
 七青梅村へノ往來ナリ。

越地坂 村ノ東坂本ヨリ玉ノ内へ通フ坂ナリ。上
 リ二丁許。
 将門坂 村ノ中ホトニアリ。往昔平将門常ニコノ
 道ヲ越テ秩父へ往來セシトテ。カノ名トセリト。
 上下凡五六丁モアルヘシ。
 大名坂 村ノ東ニヨリテアリ。上リ二十間ハカリナ
 リ。
 勝雄山 村ノ西方小名岩井ニアリ。或ハ勝峯山下
 七云。高サ五十丈ハカリ。モツトモ嶮阻ニシテ北
 ノ方障子岩ナリ唱フル岩石アリ。ソノ秋切夕子

タル如クニシテ高サ六七丈。東北へノハバリニ
十丈モアルベシ。西方モ又嵯峨タル岩ヲテ并ヒ
ソバダツ。東南ニ羊腸タル古道ノ跡アリ。相傳フ
天慶年中平将門エノ山上ニカリニ城壘ヲ構ヘ
タリシヲ。依藤太秀郷討手トシテ。羽生ノ土橋ノ
口ヨリ馳向ヒ。菅口六郎ナル者幸神ノ菅口ト云
所ヨリ向ヒシト。ソノ證跡ハタシカナラズ。タバ
山ノ中腹ニ池ノ跡アリ。今ハ水カレテナシ。ソレ
ヨリ五丁ホト上リテ馬場跡ト云モノアリ。今ユ
シヲ早道場ト云。又同シ邊ニ風穴ト唱フル岩洞

アリ。入口ノ高サ六尺幅三尺ハカリ。奥ノ方へ三
間ホトハ土人入レテアレド。ソレヨリサキハ狭
窄ニシテイソバクノ深サニヤシルベカラズト
云。

斑峯 坂本ノ邊ニアリ。

孝靈天皇ノ御宇。夏ユノ山ニ雪降テ斑ニナリシ
ニヨリテ唱ヘシト云。尤信ジガクキ託ナリ。

稲 アラ石 字肝要ノ内。三ツ澤川ノ北岸。高サ凡六
丈廻リ十丈バカリ。

鈴 ケ石 勝雄山ノ中腹ナル池ノ邊ニアリ。土人鈴

御前ノ鍔石ト云。徑一尺ハカリソノ狀ノ鈴ニ似
タレヲモテ名トセリ。

玉石 錐子石 村ノ北方土ノ内川ノ北岸ニアリ。

玉石ハワタリ五尺バカリ。周廻ニ抱餘圓ニシテ
形玉ニ似タリ。錐子石ハ長六尺。圓徑四尺許。又川
ノ南岸ニモ形ノ圓ナル石アリ。土人ソレヲモ玉
石ト唱フ。

神社

白山社 除地六段ニ
畝二十五歩 新井ニアリ。本社ハ六尺四

方マヘニ拜殿アリ。祭神菊理姫命ハ木ノ坐像ニ
テ長三寸アマリ。伊弉諾命。大己貴尊ニ座ヲ配祀
ス。本地十一面觀音ノ像ヲ鑄出シタル銅鏡一枚
ヲ置。近歲曲祿ニカ、リテ銘文ハツマヒラカニ
讀得サレト。銘ノ末ニ建武五己卯年日奉守吉敬
白ト云。文字ノミカスカニミユレト建武ハ三年
ニテワキ。建武五年ハ曆應元年ナルヘケレト。コ
ハ支子モ合ザレハ。曆應二年ノ己卯ナルヘキ也。
今ヨリ考ベカラス。サレドコノ頃ノミツアレハ
古社ナルヲシラレ。當社ハ新井萱窪岩井三ヶ取

ノ鎮神ニテ。例祭九月十九日。神主山崎但馬中臣ノ後ヲ修ス。

寶物

大般若經

コノ經ハ昔村内小名茅窪ニアリシ。大義山能仁寺ト云古刹ノ什物ナリシヲ。廢寺トナリシコト。三百卷ヲ下平井村熾魔堂ニ納メ。三百卷ヲ當社ニ納タリシト云イワノ比敬失セシカ。今ハ二百卷バカリ残りタレト。ソレモ後人書寫シテ神ヒシモノ許多マシレ

リ。古キ印本ハ延文ヨリ應永マテノモナレハ古物ナルコト論ヲマタス。卷末ニ施主ノ法号年月ヲレレセシ中ニ。惣奉行人別三百。内大檀那兵部大輔正五位下平朝臣氏重。貞治五丙午年四月日ナト書ビモナリ。神主山崎但馬社ノ傍ニ居レリ。吉田家ノ配下ニテ郡中五日市村ノ神職有竹右京カ觸下ナリ。

幸神明神社

幸神明トイフ。本社ハ小社ニテ拜殿アリ。二間ニ

除地三段
畝二歩

當社アルヲモテコノ邊

四間半。祭神ハ猿田彦命ナレト。幸神ト稱号スル
 由来ハ詳ナラズ。例祭三月廿六日。神主宮田伊織。
 勝峰権現社 除地五畝 字岩井ノ勝雄山ニアリ。
 小社ニテ上屋アリ。祭神ハ子聖ナリ。例祭三月八
 日岩井院持。
 山祇社 除地二畝 細尾ノ内字馬泉ニアリ。小社
 祭神ハ大山祇命ニテ。本地十一面觀音ノ銅像ヲ
 安置ス。勸請ノ年代ハ詳ニセザレト。寶永六年光
 明院阿闍梨覺意ト云僧ノ記セシモノニ。至徳年
 中平山武者所季重ノ未流。日奉守吉當郡ノ司夕

リレ時。建立スル所ニテ其後久シク廢セシヲ。
 大猷院殿ノ御時再興アリ。社領ノ陸田リコハク
 除地トナレリ。今社檐ニ掛ル鰐口ノ銘ニモ日奉
 守吉カ約メタレヨレヲ刻セリ。尤ノ如シ。



コノ銘文ニヨリテモ覺意カ記セシトゴロ實事ノ
 ナルヘシ。例祭毎午五月十七日ナリ。百姓常右衛
 門カ家ニテ世々司ル。
 山祗社 除地七段四畝 落合ニアリ小社ニテ上屋
 ヲ夕ツ。村民ノ持。
 山王社 九除地一段 新井ニアリ。エレモ小社ニシ
 テ村民ノ持。
 山神相社 除地九畝 細尾ニアリ。則リノ所ノ鎮
 熊野ノ祭日ハ五月十四日山神ハ九月十
 四日ナリ。百姓持。

日月天社 除地一段七畝 肝要ニアリ。小社ニテ上
 屋ヲ夕ツ。百姓持。
 壹牛王權現社 除地六畝 イレモ同所ニアリ。小社
 ニシテ二間ニ二間半ノ覆屋ヲ夕ツ。祭神ハ大己
 貴命ナルヲ云傳フレト。鎮座等詳ナラス。例祭
 六月十五日。千人組同心嶋崎仲右衛門カ家ニテ
 進退ス。
 松尾權現社 除地一段 松尾山ニアリ。ヨリテ松
 尾權現ト尊稱スト云。小社ニテ上屋アリ。祭神ハ
 詳ナラカレト。本地ハ釋迦ニテ坐身ノ銅像ヲ安

置入。コレモソノ地ノ産神ナリ。例祭九月十九日。百姓持。

熊野社 奉奠地 三ツ澤ニアリ。ソノ邊ノ鎮守ト

ス小社ニテ。上屋アリ。例祭六月十五日。百姓持。

天神社 除地三畝 羽生ニアリ。二間四方ノ社ニ

テ。マヘニ拜殿ヲタツ。昔ノ神躰ハ菅家自画ノ像

ナリシヨリ。安永年中丙丁ニカ、リテ烏有トナ

リレヨリ。木ノ坐身長一尺八寸ナレヲ置リ。又古

ハ村ノ南ノ方。字元澤ト云所ニ社ヲ建シカ。馬ニ

ノリテソノ邊ヲ過ル人。ニバ、落馬シタルヲ

モテ。後年今ノ地へ遷宮セシトイヘリ。ヨリテ舊

地ヲ今モ天神林ト呼ヘリト。按ニ元澤天神ト云

ハ。武藏國多磨郡中ノ古社ニテ。延喜式神名帳ニ

載ル處ナリ。昔ヨリ郡内。矢野口村ノ鎮守ノ天神

コレナルヘシト云。然ルニ當社ノ舊地ヲ元澤ト

唱フレリ。モシクハソノカミカノ式社ノ遥拜ノ

為ニ當所ニ勧請セシユヘ。其地ヲモ元澤ト呼フ

リシヲ。後人天神ト稱スレヨリ。誤テ天満宮ナリ

トシ。終ニハ附會シテ昔ノ神躰ハ菅家ノ自画ナ

リトナト云説モ方ヨリシナラン。猶矢野口村ノ

天神社ノ条合セ考フヘシ。例祭毎年正月廿五日。
村内清涼寺司ル。

神明社

除地ニ段六畝
廿四歩

坂本斑峯ニアリ。麓ヨリ八

丁ハカリヲノホリテ鳥居ヲ夕ツ。ソレヨリ石階
ヲアマ夕ノホリヘテ社前ニ至レリ。社ハ三尺ハ
カリニシテ。二間余ノ覆屋ヲ設ク。神躰ハ秘シテ
并スルヲユルサス。土人ノ説ニイニシヘ大久
野ト云レ修驗者。伊勢國宮川ノ神明ノ社ノ境内
ノ土ヲ取キ夕リテコ、ニ勸請セシト云。サモア
リシニヤ。社内ニ永禄二年。同六年平山左衛門尉

綱景カ造立ノ棟札アリ。ソノ圖ハ後ニノス。是ニ
ヨレハ永禄二年十二月新造アリテ。ソノ後四年
ヲヘテ六年十一月造營シ。明レ七年十二月遷宮
アリシトハ分明ナリ。又元龜三年。神主宮岡民部
大夫造立セシト云。棟札モアリ。ソレヨリ後慶長
九年

台徳院殿ノ命ニヨリテ。大久保石見守御代官ト
シテ御再興アリ。又寛文五年ニモ
嚴有院殿御再興アリテ。エノトキハ福村長右衛
門御代官ナリ。度々ノ棟札ヲ社内ニ藏ム。祠官ハ

宮岡右京ト云。吉田家ノ配下ナリ。

大檀那日本朝臣平山綱景

奉新造天照皇大神拜殿神守

永祿二己未三月十八日

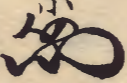
神主宮岡民部大夫守久

大工 落合七郎左衛門

灑水西福寺御遷宮御神樂致者也

深屋代物壹貫 大工野口次郎四郎

大檀那平山左衛門尉綱景



馬壹足 祿直宮岡民部大夫守久

正八

馬壹足 銀治 落合平藏三郎

永祿六癸亥 十月廿二日御遷宮同七月廿二日御遷宮 岩瀬

神明社

除地 四段 北九步

水ノ口ノ内林山ノ頂ニアリ。

小社ナリ。二間ニ三間半ノ上屋アリ。神躰ハ秘ニテ拜スルヲナシ。例祭九月十五日。祠官川上山城ヲカサトレリ。

山 祇社

除地 二段 八畝 九步

水ノ口ノ山上ニアリ。コノヘ

ン及ヒ長井ノ鎮守ナリ。コレニ小社ニテ拜殿四間ニ二間余。神躰ハ木ノ立像ニテ。長九寸ヨ。當社ニ棟札ノコトキ木ニ勸請等ノヲヲ記セシモノアリ。ソノ文中ニ弘仁十四年。川上隼太盛重宮所ヲ建立シテ。長井百家ノ鎮守トセリ。ソノ後天慶二年ニ起立シテ。長元年中ニ建立アリト云。サ

ト下年代ホリ考フルニ。全信用スヘキニハアラ
ハレト。イカニモ古キ鎮座ナレコトハ疑フヘカ
ラス。又相殿ニ白山権現ヲ祀レリ。コレハ天正七
年十月。村内長井寺ノ住僧夢中ニ告アリテ越前
國永平寺ノ鎮守白山権現ヲエハニマワレリト
云。故ニ祭禮ノ時ハ長井寺ヨリ物ヲ供セリ。神主
川上光内ハエノ山ノ中腹ニ住ス。
月星石 社内ニアリ。圓カナル白石ニシテ青色
ノ細點アリ。大サ四寸ハカリ。ソノ来由ヲ傳ヘ
ス。按ルニ當社ニ藏スル木札ニ。夜々月星光リ。

星飛降テゴノ上ニ落ト記セリ。コレニヨリテ
設ケレモノナレヘシ。

淺間社 除地ニ段 坂本ニアリ。小祠。三間ニ二間

半ノ覆屋アリ。神躰ハ木ノ立像。長七寸バカリ。鎮
座ノ年歴詳ナラス。サレド當社棟札ニ明應九年
中興シ。又元龜二年。北条氏照再興セシヨシノセ
タレハ。古キ鎮座ナレリハ論ナシ。毎年六月十五
日例祭アリ。宮岡右京ガ持ナリ。

松尾権現社 除地一段 松尾ニアリ。鎮座ノ年代ヲ
テラス。五尺ニ六尺ノ社ニテ一間半ニ二間ノ覆

屋ナリ。神躰白幣本地佛ハ釋迦ノ坐像。長二寸ハ
カリ。例祭年々九月十九日。百姓持。

諏訪明神社 除地ニ段六畝 坊平ニアリ。勧請ノ年

代詳ナラス。小祠ニテ二間ニ一間半ノ覆屋ヲ設

リ。神躰ハ一尺二寸ハカリノ鏡ニテ。面ニ蛇ノ象

ヲ鑄タルモナリ。例祭ハ七月廿五日。同寺ノ持。

三島明神社 除地三段六畝十五歩 落合ニアリ。コレモ小

祠ニテ上屋アリ。特履ハ三間半ニ二間。社前ニ石

階十級アリ。祭神ハ大山祇命。神躰ハ故アリテ寶

永四年九月封テ持スルナリ。但円鏡ナリト云

傳フ。相履ニ赤火々出見尊ヲ祀レリ。コノ神躰ハ

金幣ナリ。年々九月廿九日祭禮アリ。祠官ヲ宮岡

大和ト云。榛名権現社 水ノ口ニアリ。小祠覆屋アリ。例祭ハ

月八日。川上山城ガ持ナリ。

熊野権現社 除地ニ段五歩 コレモ小祠ニシテ上屋

アリ。神躰鏡面ニ鑄出タルモノナリ。鎮座ノ年歴

詳ナラス。千人組ノ同心。小山佐五右衛門ガ持ナ

リ。

愛宕社 北ノ原ニアリ。小社二間ニ一間半ノ覆屋

あり。本北佛地藏ハ長三寸バカリ。例祭六月廿四日ナリ。村内西福寺持。

山王權現社坂本ニアリ。コレモ小祠ニテ上屋ヲ夕

ツ。徑五寸ハカリノ鏡ヲ神躰トス。同寺ノ持ナリ。

不動社一除北一段
一畝廿一步三澤ニアリ。小祠上屋二間ニ

二間半。不動ハ長三寸バカリノ石像ナリ。毎年六月廿八日例祭アリ。百姓持。

寺院

天正寺 境内七十五 新井ニアリ。曹洞宗根ケ布

村天寧寺ノ末山ナリ。耕雲山ト号ス。開山廣庵禪

師芸長和尚。天正元年六月六日寂スト云。禪師ハ

諱ヲ芸長トイヒ。姓氏及ヒイツレノ國ノ産ナル

ヲヲ詳ニセス。或ハ上野國群馬郡ノ産ニテ岸氏

ノ子ナリト云。迦葉精舎ニテ落髮受戒シ。ソノ後

本郡根ケ布村天寧寺ノ説翁禪師ニ嗣法シ。ツイ

ニソノ寺ニ住持セリ。夫ヨリ晩年ニ至リ。當寺ヲ

開キテ退居シ。永禄六年三月廿四日示寂セリト

云。コレ謄語集等ニノスル所ナリ。寺傳ト寂年ヲ

カヘリ。本堂十一間半ニ七間。本尊正觀音ハ木ノ

坐身ニテ長一尺二寸。佛師運慶ガ作ナリ。左右ニ
達磨大権ノ二軀ヲ置ク。トモニ長一尺ハカリ。
御朱印ヲ附セラレ。寺領六石三斗ノ地ヲ賜フ。境
内モソノ内ナリト云。
鐘樓 境内ニアリ。鐘ノ銘文九ノ如シ。
大日本國東關武列多西郡大久野郷。耕雲山天
正禪寺之公用鐘序。
爰為勤法令新催鑄鐘一器。願望久刻得優曇華
之瑞者也。則十方檀越以施力鷄鐘令成就畢伏
冀。

聖壽万歳 山門繁昌 帝法道北

宜起禪場 建立鑄始 聲通十方

常樂我淨 消佗鑿湯 覺無明眩

坐解脱床 破三毒夢 得十吉祥

諸願已滿 又足衆望 國家無事

檀越榮昌 至祝齡算 地久天長

于時寛永十二乙卯年九月二日

勅特賜前總持當山五世真叟謹寫

大工横川加藤甚九衛門

芳久五

鐘造五

佐久間小兵衛丞
為菩提

茅六大祠 寺後ノ山上ニアリ。

辨天祠 本堂ノ乾ニアリ。

妙樂寺

除地 八畝

新井ノ内字東ヶ谷戸ニアリ。曹洞

宗村内天正寺未。桃園山ト号ス。當寺ハ北條氏照

ノ一族ナリ。妙樂尼ト云レ人ノ住居セシ菴ヲ後

年一寺ニ創立アリシナレハ。ソノ名ヲ追テ妙樂

寺トハ稱セリト云。サレド方ノ尼ノ一ハ他ニ考

ル處ナクシハ。實ニ氏照ノ支屬ナレヤ詳ナラズ。

客殿三間ニ五間。本尊十一面觀音ノ坐像ヲ安置

ス。

寶鏡寺

除地 一畝 七畝十步

幸神ニアリ。大圓山ト号ス。コ

レモ天正寺ノ未寺ナリ。開山宗山禪戒和尚。宝永

六年七月十八日化ス。本尊聖觀音。木ノ坐身運慶

力作ト云。客殿五間ニ六間。

岩井院

除地 七畝

岩井ニアリ。因テ院号トナセリ。當

寺モ天正寺ノ未山ニテ。山ヲ勝峰ト稱ス。開山ハ

本寺ノ茅二世。九山整重和尚ナリ。エノ人天正十

四年七月十三日化スト云ヘハサセル古刹ニハ
アラズ。本尊阿彌陀銅像ナリ。客殿七間ニ四間半。
慶福寺 除地三畝四 肝要ニアリ。日陽山ト号ス。
畝二十九歩
當寺ニ天正寺ノ末ニテ開山ハ本寺ノ四世。驥雲
村竜和尚ナリ。慶長十四年十月十五日示寂ス。昔
ハ今ノ地ヨリ二丁アマリ南ニアリシカ。シバク
水災ヲ被リシエヘ。コノ所ヘ移轉セシト云。本尊
ハ十一面觀音ニテ黄金佛ナリ。長一寸八分。又別
ニ木像長一尺三寸ナルヲ造リテ。ソノ胎内ニ藏
ス。モツトモ冥威アル像ナリト云。脇士薬師ノ像

長五寸作シムス。
松津寺 除地三畝 松尾ニアリ。龍光山ト号ス。開
山真叟重達和尚。寛永十四年三月五日寂ス。本尊
十一面觀音。脇士不動毘沙門ノ二軀ヲ安ス。客殿
ハ七間ニ三間半アリ。
慶徳寺 除地九畝 萱窪ニアリ。ヨリテ山ヲ萱窪
ト号ス。開山驥雲村竜和尚。慶長十四年十月十五
日寂ス。本尊正觀音客殿ニ安置ス。
保寿院 除地四畝七 玉ノ内ニアリ。玉石山ト号
畝二十二歩
ス。開山廣庵禅師。天正元年六月六日化ス。本尊將

軍地藏木ノ坐像ニシテ。長六寸五分。佛師定朝カ
作ト云傳フ。客殿ハ九間ニ六間ナリ。以上三ヶ寺
ニ天正寺ホナリ。

西徳寺

除地三段
七畝三步

水ノ口ニアリ。毎量山トイヘ

リ。開山涌山林東和尚。慶長八年四月十二日化ス。

本尊馬頭觀音ノ立像。長三尺五寸ナリヲ安ス。行
基菩薩ノ化ト云。客殿七間半ニ五間半。

鏡石 客殿ニ向テ丸ニアリ。昔ハ石面ナメラカ

ニシテ。飛鳥走獸ノ影マテウツリシニヘ。鏡石
ノ名ハ起ラレト云。シカニニ万治三年丙丁ノ

災ニカ、リテ。石面崩レシカハ。今ハ鏡石ト云
ヘキサマニアラス。サレドソノ石質ハ蒲萄石
ナト唱フル類ニシテ。最光澤アリ。長四尺アマ
リ幅二尺バカリモアレベシ。

獅子岩 同並ニアリ。高四尺アマリ。幅三尺許ニ

シテ。ソノ形獅子ノ蹲踞セシカ如シ。エノ石ハ

天然ノ奇石ナレニヨリ。永禄十二年正月。滝山

ノ城主タリシ北條氏照所望シテ。ソノ臣野村

源兵衛ニ命シ。數多ノ人夫ヲ掛テヒカントセ

シ。寺内ノ表橋マテハ易ク出シカト。ソレヨ

り外へハイサ、カモ動カサリシユへ。ソノ由
氏照方へ言遣ケレハ。法語ニイヘル獅子一叫
スレハ百獸悩烈ノ理アレハ。シヒテ引取ニ及
ハシトテ。ソノマ、サシヲキタリシト。又大久
保石見守八王子ニ住セシ時モ。コノ石ヲ所望
セシカト。遂ニ引移ス。イカナハスシテヤミタ
リ。コレヒトヘニ觀音ノ灵石タルニヨルナラ
ント云。

腰掛石 寺後ノ山上ニアリ。高六尺。徑り五尺ハ
カリ。萬治年中堂舎火災ニカ、リシ時。本尊工

ノ石ニトヒ移シヨリ。腰掛ノ名ハ方コリシト
云。尤浮タル説ナリ。

二双竹 長七尺バカリ。周リニ寸餘ノ竹ナリ。地
ヨリ一尺五寸バカリ上リテ兩竿トナル。工ノ
竹寺内異事アレハ必先タチテソノ兆ヲナシ
テ一竿ヲ増セリト云傳ヘタリ。サレド今一竿
ノミニテ古キ株モヒエサレハ。イトウケカタ
キ説ナリ。

赤城明神祠跡 寺後ノ山上ニアリ。社ハ近キ年
廢壞シテイマ夕再建ニ及バス。

長井寺

除地 三階 八畝 六歩

長井ニアリ。瑞龍山ト号ス。工

レ七 天正寺 未。開基ハ北條氏照ノ庵下ナリシ。長

井六右衛門ナルヨシ。六右衛門ガ法諡ヲ長井寺

殿深廣無涯居士ト云ヒ。妻女ノ法名瑞竜院殿驪

額妙珠大姉ト唱フ。ヨリテカノ夫婦ノ法号ヲ用

ヒテ寺ノ山号トナセリ。開山廣庵禪師。天正元年

六月六日示寂ス。本尊釋迦ノ坐像。長八寸五分 容

殿ニ安置ス。

清涼寺

除地 一一段 二畝 二十四歩

羽生ニアリ。金澤山号ス。天

正四年三月廿八日ノ起立ナリ。本尊彌陀ノ木像

客殿ニ安ス。

天神祠 客殿ニ向テ尤ノ方ニアリ。小祠。

長泉庵

除地 一一段 二畝 八歩

水ノ口ニアリ。工ノ下ノ三庵

ニ 天正寺ノ末ナリ。石經山ト号ス。開山涌山林東

和尚。慶長八年四月十二日寂ス。地藏ノ坐像ヲ本

尊トス。客殿五間二尺ニ三間。寺寶ニ十玉ノ画像

十幅アリ。水帳ニハ十玉免ト書タレハ。昔ハコレ

ニ本尊トセシニヤ。

光珠庵

除地 一一段 五畝 九歩

同所ニアリ。コレニ林東和尚

ノ起立ニテ龍岩山ト号ス。本尊將軍地藏客殿

安入。

玄珠菴

除地一畝
七畝九步

玉ノ内ニアリ。圓通山ト稱入。

開山驥雲村龍和尚。慶長十四年十月十五日化ス。

本尊十一面觀音。立身ニシテ長一尺三寸。行基菩薩ノ作ト云。容殿ニ安置ス。以上ハ大正寺ホナリ。

西福寺 境内凡 北原ニアリ。新義真言宗山城國

宇治郡醍醐山報恩院ホ。登覺山來迎院ト号ス。開

山及起立ノ年歴ハ傳ヘカレト。中興ノ開山真觀

上人。弘安元年三月五日示寂ストイヘハ。古刹ナ

ルトハ論ナシ。寺領五石三斗ノ 御朱印ヲ賜フ。

境内ニ寺領ノ内ナリト云。

本堂 十間ニ七間不動ノ坐像。長一尺五寸五分

ナルヲ本尊トス。

庫裡 三間ニ五間

什物

石動画像

智證大師ノ筆ト云傳フ。

波切石動画像

弘法大師ノ筆ナリ。

四取明神画像

一幅

一幅

一幅

慶秀僧都ノ筆ト云。

天満宮画像

一幅

観音画像

一幅

コノ二幅ハ古画ナレトモ筆者詳ナラス。

五大尊不動画像

一幅

慶秀僧都ノ筆ナリ。

長刀

一振

總ノ長一尺五寸。銘ニ兼友ノ二字ヲ刻ス。柄

ハ長六尺ニテ鐔下ノ金具ニ一ツ巴ノ縁ニ

花ヒラノ如リナルモノアル紋ヲ彫ゼリ。コ

ノ長刀ハ天正十八年。北条氏照ハ玉子ノ城

ニ於テ恣敵退散ノ為。青梅高幡両金剛寺。及

ヒ當寺ノ両上人ヲ請待シテ祈禱セシメ

トキ。俄ニ寄手攻来リ。ホトンド落城ニ及ン

トスルコト。僧侶等路防戦ノ具トシテ

ヘタリシモノト云。五大尊ノ不動モソノ時

本尊トシタル像ナリト傳フ。

譽

一口

明珍負家カ作ル取ナリ。ソノ傳來ハ詳ナラ

ス。

經藏 本堂ノ西ニアリ。

樓門 同並ニアリ。二間ニ一間半。正徳六年鑄造ノ鐘ヲカリ。銘文ハ考證トスヘキナキヲモテ畧ス。

彌陀堂 本堂ノ北ニアリ。三間四方。コノ堂ハ長徳年中ノ起立ナリト云。三尊彌陀ノ立像ヲモテ置ス。惠心僧都ノ作ナリ。

光明院 除地 三段 細尾ニアリ。頓學山ト号ス。村内西福寺ホナリ。本堂ハ南向ニテ六間ニ四間半。本尊不動長一尺六寸ナルヲ安ス。開山真觀上人弘安

元年三月五日示寂セリ。開基詳ナラズ。

寶物

不動畫像

一幅

智證大師ノ筆ナリ。

十三佛畫像

一幅

惠心僧都ノ筆ナリ。

鏡ノ御影

一幅

真教大師ノ筆ナリ。

藥師堂

本堂ニ向テ右ノ方ニアリ。三間四方ノ堂ニテ本尊長六寸五分。脇士長六寸餘。各惠心

僧都ノ作ナリ。傍ニ六地藏長六寸ハカリナリ
ヲ置。又釋迦ノ像一軀ナリ。相傳フコノ堂ハ一
ノ大木ヲモテ造立セシト云。ソノ年代ハ傳ヘ
ガレドイト古ク造立セシモノト見ユ。コノ堂
ノ傍ニ古碑ニ基アリ。何レモ文正元丙戌年ト
上レリ。

多聞院 除地ニ段六 北ツ原ニアリ。菅井山ト号
ス。開山開基詳ナラズ。イツノ頃ヨリカ住僧ニナ
リシテ。村内西福寺ノ持トナレリ。

多福院 除地一段 幸神ノ内菅口ニアリ。禪宗臨
ニ畝

濟派菅口山ト号ス。郡内小和田村廣徳寺ホナリ。
開山開元透和尚。寛永十四年三月五日寂ス。開基
詳ナラズ。本堂東向五間ニ三間。本尊ハ釋迦ノ坐
像長八寸ハカリ。當寺モ今ハ毎任ナリ。

玄珠庵 除地一段 玉ノ内ニアリ。圓通山ト号ス。
五間ニ三間ノ庵室ニシテ。本尊十一面觀音立像
長一尺ハカリ。行基菩薩ノ作ト云。村内天正寺持。

地藏堂 萱窪ニアリ。地藏ハ石像ニテ長八寸ハカ
リ。九右ニ十五。及ビ冥官ホノ木像ヲ置。各長一
尺ハカリ。堂ハ二間ニ一間半。南向ナリ。持前ニカ

ナシ。

廣徳庵

三ツ澤ニアリ。二間四方ノ庵ナリ。本尊釋迦ノ座像長七寸。脇士薬師ノ坐像ニテ。長五寸ハカリナレヲ安セリ。本尊ノ臺座ニ應安二年起立セシヨシヲ記セリ。ソノ後文明元年十月再興セシト云傳フ。村内ニ居スル千人組ノ同心岡部五郎兵衛ガ持ナリ。

薬師堂

除地七畝。新井ノ内東谷戸ニアリ。相傳昔コノ所ノ北ノ方ナル山上ニ一字ノ寺アリシカ。イツノ比カ廢寺トナリシ時。ソノ山門ニアリシ薬師ヲコ、ニウツレテ安置セシト云。今モソノ山ヲ寺山トヨベリ。寛文中ノ水帳ニステニ寺山ノ名ヲノセタレハ。彼寺ノ廢セシハ寛文ヨリ前ナルヲハ知ラレ。薬師ハ長一尺七寸。脇士各長一尺六寸バカリ。春日ノ作ト云。ソノ臺座ニ真列之住人樋口某ト記セリ。マツ三尊ノ弥陀。長三尺バカリナルヲ置ケリ。堂ハ二間四方ニテ。南ニ向ヘリ。コ、ニ古キ位牌ニ基アリ。西ニ道西禅門

妙猷禅尼トアリテ。背ニ康永三年八月三日。建武二年九月十六日ト記ス。又一ハ前任西堂謙仲

益和尚。明德三年正月八日トシレセリ。ソノ来由
ヲ詳ニセス。又堂地ノ内ニ古碑三四基アリ。文字
皆滅シテヨムヘカラズ。村民ノ持ナリ。

薬師堂

除地ニ段
四畝

寺山ノ上ニアリ。二間ニ一間

半ノ堂ナリ。薬師ノ長五寸バカリ。傍ニ十二神ノ

像アリ。長各五寸バカリ。コレモ村民ノ持ナリ。

多門堂

丰貢地

北ツ原ニアリ。多門天木像ニテ

長一尺バカリナレヲ安ス。二間四方ノ堂南向ナ
リ。

大日堂

丰貢地

梅ヶ谷ニアリ。二間四方ノ堂ニ

シテ。大日ハ石ノ座像ナリ。長八寸バカリ。

地藏堂

丰貢地

玉ノ内ニアリ。石像ニシテ二間四

方ノ堂ニ安セリ。

地藏堂

丰貢地

坂本ニアリ。コレモ石佛ニテワ

ツカナレ堂ナリ。

薬師堂

坂本ノ内斑テ峯ニアリ。コノハ村内神明

社除地ノ内ナリ。堂ハ二間半ニ四間。薬師ハ木像

ニテ長三寸ハカリナレヲ安置ス。村内神明社ノ

神主宮岡九京ガ持ナリ。

北不動堂

丰貢地

勝雄山ノ麓ニアリ。一間半

方ノ堂ニテ不動ハ長一尺ハカリ木像ナリ。其ノ
堂ノ傍ニ高四間ハカリノ巖石アリ。其山ニ水ヲ
ヒキテ高一間ホドノ滝トナセリ。ソノ流亦東ニ
走テ大久野川ニ入レリ。村内岩井院ノ持ナリ。

舊蹟

館蹟 字長井ニアリ。地畝スコシク高クシテ一段
ハカリノ所ナリ。又コノヘン日影ト云所ニ馬場。
及ビ的場ノ蹟アリ。今ハ皆畑トナレリ。相傳フコ
ノトコロハ北条氏照ノ家士長井六右衛門ノ居

蹟ナリト。又コノニ八幡ノ小祠アリ。古ハ八鎮守
ナリト云。今ハ村民ノ持ナリ。

屋敷蹟 幸神ニアリ。一丁四方ノ地ヲイヘリ。ソノ
来由詳ナラズ。

新井屋敷蹟 新井ニアリ。小田原北条ノ家士新井
伊賀同十郎兵衛ナト云ヒ人居住セシ所ナリト
云。今ハ村ノ名主傳左衛門ガ居宅トナレリ。

舊家

佐久間宗兵衛 八王子千人組ノ同心ナリ。モ

新井氏ニテコノ地ノ旧家ナリシガ。近キコノ故
アリテ仇久間ノ家ヲツキレトイフ。先祖ハ新井
伊豫守輝高トイフ。文明二年十二月卒セリ。ソノ
子孫小田原北条家ニ仕テ當所ニ居住セリト云。
旧蹟ノ茶ニ新井十郎兵衛ト云ルハスナハチコ
ノ孫ニテ輝盛トイヒシ人ナリ。コノ人ハ天正六
年ニ卒セリト。ヨリテヲモフニ前ニイフ伊賀ハ
十郎兵衛カ父ニハアラスヤ。ソノ後ノコトハ詳ナ
ラサレド。子孫相繼テコノ宗兵衛ニ至レリ。今モ
武器及ビ古文書ヲ藏ス。ソノ文丸ノコト也。

一書指越破其状北列後内ノ有

来月廿二日お飛越。小田原市中。依

と月十四日迄家中。考合評定お極

あり
下有

天正二年二月初

赤松源吉左衛門

新井市に在る

光

野邊

雨男

牛沼

代継

淵上

引田

山田

細代

倅索

横沢

立岩

高尾

留原

小和田

市

中野

戸倉

乙津

長澤

入野

三内

大久野
田

右ノ村ノ高島ノ面ノ森ノ名
七ツ連ノ清徳ノ名ノ如ク

天正三年

戊辰月十日

徳政用人

追ふ中

横沢大膳中務

細代貴志

立谷貴志

戸倉藤原

加判之義府中渡り後之姓名

足利氏家譜後之姓名

とらるる

百姓弥兵衛 野口氏ナリ。姓古大久野七騎ト唱へ

テエノ地ニ土着セシ士七人ナリ。和田。小山。羽生。

田中。清水。濱中。野口氏ナリトナリ。エノ内野口氏

ハスナハチ弥兵衛ガ祖先ナリ。世々匠人ニテ今

モソノ業ヲナセリ。家ニ北条氏照ヨリノ文書ニ

通ヲ藏ス。ソノ文ハ未ニ出セリ。又元和三年江戸

西丸御普請ノ御用ヲハシメトシテ。同七年川越

御殿。寛永十三年同取。同十七年府中御殿等ノ御

普請ノ時ニ御用ヲツトメシト云。ソノ度々ノ書

物数通ヲ藏セリ。エノ余六人ノ子孫ニ土民トナ

リテ村内ニ居住スレト。サセシ證トスベキモノ
モ傳ヘガレバ。コ、ニ畧セリ。

書名

- 一 付度大途通行矢 〓 北領分ニ書通
ニ付。患お集お。生子。一曲編法。好々通。
- 一 書通。前ノ書子。何ノ。全ノ。入ノ。
- 一 付度。他ノ。好々。書通。何ノ。好々。好々。

此ノ江ノ死。好々。

右ノ大途通。押一。在。右。江。好々。好々。好々。好々。
途。前。江。好々。好々。好々。好々。好々。好々。好々。好々。
中。書。通。前。在。右。好々。好々。好々。好々。好々。好々。
西。好々。好々。好々。好々。好々。好々。好々。好々。好々。好々。



子

大竹丹好々

大久野之書道

落合所書

沙書

志書款面之大久野

落合

書

大久野

志書款面

在力也給其新下

之知新如平知下

志廻与新知也

乃如件

永禄十二

己未 七月七日 庚午

藩政

藩政

百姓五郎右衛門 村ノ名主ヲツトム。家ノ旧記ヲ
閱ルニ。ソノ祖先ハ徳石見信秀トナノリ。正中ニ
年相模國鎌倉ヨリ。コノ地ニ来リテ居住シテ。医
ヲ業トス。コノ人ヨリ四代ノ後。徳庄司信次ハシ
メテ小田原北条家ニ仕ヘ。ソノ子庄司信久モ北
条家ニツカヘテ。天正十八年。小田原没落ノトキ。
自殺レテ子ナカリシカ。佐久間氏ノ人由緒アリ
テ此家ヲツキレトリ。コレヨリ七代ニシテ今ノ
五郎右衛門ニ及ベリ。

入野村

入野村ハ郡ノ西ニアリ。秋留郷ニ屬シテ庄名ハ傳
ヘズ。江戸日本橋ヨリ行程十四里許。村ノ四境東ハ
館屋村ニ界ヒ。南ハ五日市村ニトナリ。西ハ深津村
ニ及ビ。北ハ深津川ヲ限トシテ三内村ニ至ル。東西
七丁半許。南北ニ丁半ニ及ヘリ。地形西南北ノ三方
ニ山丘アリテ高低ナレ地ナリ。民家ハ山ニヨリ溪
ニリヒテ散住ス。土性ハ真土ニテ水田少ク陸田多
シ。當村ハ昔ヨリ御料ノ地ニテ。正保ノ頃ハ御代官

福村長右衛門支配セシカ。遂ノ後。延享四年ヨリ田
安殿ノ御領知トナシリ。檢地ハ寛文七年。竹村彌太
郎改メシト云。

高札場 村ノ巽ノ方ニアリ。

小名

山下 村ノ良ノ方ニアリ。

小倉 村ノ南ニアリ。

樽 西ノ方ナリ。

若宮 北ノ方ニアリ。

赤崖 東ノ方ニコレリ。

堂ヶ谷 村ノ北ノ方ニアリ。

山川

樽川 水源ハ村内小名樽澤ト云取ヨリ流出テ村
ノ南ノ方五日市村ノ境ヲ流レ。下流ハ秋川ニ入。
川幅總ニ六尺バカリ。里人ノ話ニ。往古コノ谷間
ニ括岩ト云岩アリ。コレヨリ滴レ水コトニ甘ク
シテ恰モ酒ノ如シ。樵夫山ニ入リコレヲ飲メバ
必醜酏ス。ヨリテ取ノ名モ樽トハ名ツケタリト

云。コレハ尤ウテガヒカタキ説ナリ。タゞ樽川ノ
名ヨリ起リシコト、見ユ。

神社

八幡社

除地四畝

小名樽ニアリ。小社ニテ東向。

則リノ地ノ鎮守ナリ。村民ノ持。

荒神社

除地二畝

東ノ方ニアリ。小社コレモソノ

辺ノ鎮守ナリ。

子聖權現

東ノ方ニアリ。小社ナリ。

山神社

除地七畝

小名樽ニアリ。小社ナリ。

茅六天社

小名堂ヶ谷ニアリ。小社。以上ノ四社ト

モニ村民ノ持ナリ。

寺院

徳藏寺

除地一畝

小名小倉ニアリ。禅宗臨濟派。同

郡小和田村廣徳寺末。福祐山ト号ス。開山栢芳樹

和尚。天文十三年十月廿四日寂ス。本尊地藏木ノ

立像長二尺六寸。本堂六間ニ五間南向ナリ。

不動堂 境内ニアリ。

稻荷社 不動堂ノ側ニアリ。小祠。

深澤菴

除地
六畝

小名若宮ニアリ。禪宗臨濟派ニテ

コ、モ廣徳寺ノ末ナリ。開山風岩天和尚寂セシ
年月ヲ傳ヘス。土人云。コノ菴昔深澤村ナル白井

山ニアリシガ。何ノ比ニヤ洪水ニ才シ流サレテ

コ、ニ漂著セシヲ。ソノマ、建ヲキタリトイヘ

リ。幸ハ深澤村舊蹟ノ條ニモノセタリ。本尊地藏

木ノ立像長一尺一寸五分。菴ノ大井三間ニ五間。

東向ナリ。

藥師堂

除地三畝
十四歩

小名樽ニアリ。三間ニ四間ノ

堂ナリ。藥師ハ石ノ立像長五寸ハカリ。村内深澤

菴ノ持ナリ

大日堂

除地七畝
六歩

コレモ樽ニアリ。此以下ノ堂ハ

コナワツカハカリナル堂ナリ。本尊木ノ立像。長

一尺四寸。百姓ノ持。

地藏堂

除地三畝
十八歩

小名山下ニアリ。石ノ立身ナ

リ。百姓持。

阿彌陀堂

堂地
四坪

コレモ山下ニアリ。彌陀ハ木ノ

座像長八寸五分。コレモ村民ノ持。

丑日市村

丑日市村ハ郡ノ西ニヨリテアリ。秋留郷高倉庄ニ
屬ス。古ハ小庄村ト唱ヘシ由イヘド。ステニ正保年
中ノモノニハ丑日市トシルセバ。ソノ改リシモ古
キヲトミエタリ。丑日市ノ名ノ依テ起ル處ハ當村
毎月五十ノ日市ヲチシニ由レリト。ソノ地ハ江戸
日本橋ヨリ行程十四里餘。民戸百九十五軒。村ノ四
境東ハ館谷村ニ隣リ。西ハ小中野村ニ接シ。南ハ秋
川ニ限リ。留原小和田ノ二村ニ對シ。北ハ入野村ニ

テ峯ヲ境トセリ。東西凡九丁。南北二十一丁。土地大抵平地ナレト。南ノ方ハ少クヒキリ西北ニ山アリ。土性ハ真土ニテ水田少ク陸田多シ。村内一條ノ往還アリ。東ノ方館谷村ヨリ西ノ方小中野村へ達ス。道幅ハ廣キ所ニテ七間許。長九丁餘ナリ。此村古ノ領主ヲ詳ニヒス。正保ノ比ノモノニハ福村長右衛門カ御代官取。及八幡領十石ト記セリ。ソノ後七世々御料取ニシテ。今ハ小野田三郎右衛門カ御代官所ナリ。檢地ハ寛文七年。竹村彌太郎ノシ。ソノ後享保十八年。寛播磨守アラメシト云。

高札場

村ノ東ヨリ中市場ニアリ。

小名

番場 村ノ西ノ方ナリ。

小納 村ノ南ニアリ。

松原 同シ辺ナリ。

小庄 上ニ同シ。

入野ノ北ノ方ナリ。

北寒寺^{ホツカジ} 西北ノ端ニアリ。

権太 東へヨレリ。

新町 村ノ西ニテ往還ノ内ナリ。

上市場 新町ノ東ニツ、ケリ。中下市場

モ同シ並ヒニテ次第ニ東ヘヨレリ。

中市場

下市場

山川

秋川 村ノ南界ヲナカル。川幅十四間餘。平常ノ水

カサニ三尺。村ノ西小中野村ヨリ流レ来リ。東ノ

方館谷村ニ達ス。當村ニカ、ル丁十丁餘ナリ。

溪川 村内北寒寺川ニ合ス。川幅四五尺。水路五丁

許ナリ。

稻橋石 金毘羅山ノ後ノ山ニアリ。高三丈許。巖ノ

形橋ヲ並ヘタルコトノナレハ。方ノツカラ呼名

トナセリト。同所ニ四五ケノ石ナラヒタテリ。

神社

阿伎瑠神社 村ノ南方秋川ノ北岸ニアリ。五尺ニ

六尺ノ社ニテ。前ニ拜殿アリ。六間ニ三間。阿伎瑠

神社ノ五字ヲ扁ス。スナハチ延喜式神名帳ニ載

ル取ノ多磨郡八座ノ一社ナリトイヘリ。祭神ハ

甘鋤或ハ高彦根命ニテ。圓鏡ヲ神躰トス。天正十
九年社領十石ノ御朱印ヲ賜フ。ソノ丈ニ寄進
大明神領武藏國多西郡阿伎瑠御松原之内拾石
云云トアリ。神主有竹長門カ話ニ。當社古ノ神躰
ハ八幡太郎義家着領ノ胸懸ナリ。銘ニ武藏國阿
伎瑠神社小監松原大明神。建武五年二月朔日社
務本願敬白ト鑄テアトド。コノ神躰今深ク秘シ
テ他見ヲユレサレハ。ミルヲアタハス。又イカ
ナレ故ニテ建武ノ年号アルニヤ。イッレ附會ノ
説ナルモシルベカラス。此社ハ式内ニアラハレ

ツレハ。祭神ハ始ニ云ユ下クナルベシ。コノ餘中
古ノヲハスヘテ傳ヘス。寛永年中ユヘアリテ春
日明神ト稱シ始メトテ。社内ニ春日大明神ノ
五字ヲ扁額セリ。社地スベテ杉檜蒨蒨トシテ一
叢ノ林ヲナシ。寂窳タル古社トミエ夕リ。祭礼毎
歳六月晦日。夏越ノ板及九月廿九日清板ノ神事
トテ。前日ヨリ市場ノ中ニ旅舎ヲ營ミ。神輿ヲ移
シ祀レリ。神主有竹長門ハ吉田家ノ配下ナリ。本
社ノカタハラニ住セリ。

寶物

胸懸

一

南蛮鐵ヲ以制シタルモノナリト云。則マヘ
ニイヘル八幡太郎義家ノ著領ニテ。昔神躰
トセシモノナリ。

馬印

一

金ノ五本骨ノ扇ナリ。

鉾

一

身ノ長二尺柄六尺許。以上ノ三品ハ深ノ神
秘シテ他見ヲユルサレハ真偽ヲ詳ニセ
ス。

末社

一

住吉社 本社ノ側ニアリ。下ノ二社モ同辺ナリ。

稻荷社

天満宮

寶藏 本社ノ丸ニアリ。二間ニ二間半神輿室物

等ヲ藏セリ。

熊野社

除地一段

村ノ東北ノ方入野ニアリ。小

社ニテ上屋アリ。村民持下ナラヒニ同シ。

荒神社

除地五畝

コレモ同シ辺ニアリ。小祠。

稻荷社

除地三畝

小名小庄ニアリ。

荒神社

六畝 除地一段

小名番場ニアリ。小祠隣村小

中野村農民ノ持。

山王社

七畝 除地

ユレモ同シ辺ニアリ。小祠ニテ南

向。村民ノ持。

金毘羅社

村ノ西北ノ間。入野山ニアリ。麓ヨリ絶

巔ニ至マテ屈曲シテ登ル。凡十八町ハカリ。小

社ニテ上屋ヲ立ツ。神躰ハ木像ニテ長六寸。楞嚴

寺持。

籠堂

社ノ尤ニアリ。二間ニ四間。コノ堂ハ通夜

參籠ノ為ニ設タリト云。

寺院

開光院

小名入野ニアリ。寺領十六石ノ御朱印

ヲ賜フ。臨濟宗同郡小和田村廣徳寺末。幽遠山ト

号ス。本堂八間半ニ六間東向ナリ。本尊文珠木ノ

坐像長四寸五分許。開山光嶽珊和尚。文明十二年

二月十八日示寂ス。開基ハ詳ナラズ。當寺ニ太田

道灌ノ位牌アリ。正面ニ大慈寺殿心圓道灌大居

士。文明十八丙午七月廿六日トアリ。按ルニ諸記

録ニノスル太田持資ノ法号ハ。春苑道灌トアリ

テ心圓ト記セシハ所見ナシ。裏面ニ前住一參ガ
丈ヲノセテ云。傳説ニ昔道灌全盛ノトキ。江戸城
ヨリ甲列へ發向セシニ。當院ヲ寄宿場トセシカ
開運ノ後ニ至リテ寺領ヲ贈ル。ソノ手狀ヲヨセ
シトナリ。御當代ニ至リテ
大猷院殿ノ御時カノ道灌沙彌ガ手狀ノ旨ヲ言
上セシカハ。ヤガテ寺領十六石ノ御朱印ヲ夕
マヒレヨレイヘリ。今ソノ手狀ハ傳ヘズ。
經堂 本堂ノ南ニアリ。二間四方。十一面觀音ヲ
安ス。木ノ立像長一尺許。

鐘樓 本堂ノ東南ノ方ニアリ。九尺ニ二間。鐘ノ
徑二尺二寸。寛永三年鑄造ノモノナリ。

地藏堂 境内東ノ方ニアリ。二間四面。地藏ノ長
二尺五寸許。木ノ坐像ナリ。行基菩薩ノ作ト云。

玉林寺 小名小納ニアリ。御朱印十五石五斗ノ
寺領ヲ賜フ。臨濟宗同郡戸倉村光嚴寺末。鳳凰山
ト号ス。本堂八間半ニ六間半南向ナリ。表門九尺
ニ二間。本尊釋迦坐像長一尺三寸許。開山明叟哲
和尚。貞和三年七月二日寂ス。開基ハ實際院心解
了脱大居士ト云。コレスナハチ天正ノ頃小田原

北条家ノ旗下當國檜原ノ城主。平山新左衛門氏
重ナリト云。

鐘樓 本堂ノ巽ニアリ。二間ニ二間半。鐘ノ徑二
尺アリ。正徳二年再鑄ノモノナリ。

天満宮 相殿 本堂ノ北ニアリ。社ハ三間ニ一
御靈権現

間半。境内ノ鎮守ナリ。御灵権現ハ平山新左衛
門氏重ヲ祝ヒ祀リタルモノナリト云。

稻荷社 相社ノ右ニアリ。感應稻荷ト号ス。ソノ
名ノ起リヲ詳ニセズ。

大日堂 本堂ノ坤ノ方ニアリ。二間ニ二間半。大

日ハ長五寸斗ノ木ノ空像ナリ。佛師春日ノ作

ト云。股立毘沙門。木ノ坐像長二寸餘ナリ。エ

ト云。同作ナリト云。

阿彌陀堂 除地五畝 上市場ニアリ。三間半ニ五

間東向ナリ。彌陀ハ木ノ坐像長一尺二寸玉林寺

持

楞嚴寺 除地六畝 小名北寒寺ニアリ。臨濟宗小

和田村廣徳寺末。佛頂山ト号ス。本堂五間半ニ四

間半南向ナリ。本尊釋迦木ノ坐像ニテ長五寸許。

開山龍玉虎公和尚。天正元年二月三日寂ス。

藥師堂 境内ニアリ。木ノ立像長一尺五寸。行基

菩薩ノ作ナリト云。毎年三月十二日。大般若經

ヲ轉讀セリ。コノ藥師ハコトニユエアルト

見エテ別ニ藥師免トテ一段二畝二十四歩ノ

除地アリ。

玉泉寺

除地一段
六畝二歩

小名小庄ニアリ。臨濟宗同郡

小和田村廣徳寺末。金龍山ト号ス。本堂七間ニ四

間半南向ナリ。本尊十一面觀音。木ノ坐像長一尺

五寸許。コノ觀音ニ免除ノ水田四畝アリ。開山徳

叟和尚。慶長十九年正月十八日夜セリ。

山王社

境内ニアリ小祠。

不動院

除地五畝
十五歩

小名入野ニアリ。真言宗新義

横澤村吉祥院末。琵琶山ト号ス。本堂四間ニ五間

南向ナリ。本尊不動。木ノ立像長四尺許。

河彌陀堂

境内西ノ方ニアリ。九尺四方。南向。木

ノ立像ニ一尺二寸ハカリ。

覺法院

除地七畝
十四歩

コレモ入野ニアリ。當山修驗

八王子島ノ坊宿圓法院觸下ナリ。堂ハ六間ニ三

間南向。本尊彌陀木ノ立像長二寸ハカリ。開山開

基詳ニセ入。

太子堂 小名權田ニアリ。四間半四方。本尊ハ木ノ
立像。長二尺九寸。エノ餘彌陀ノ坐像。長一尺二寸。
馬頭觀音ノ立像。長一尺二寸餘。抹香煉觀音。立像
長三寸許ナレヲ安セリ。此堂ハ寶永年中。馬場某
開基セシニテ。元ハ觀音堂ナリシカ。後再造ノ時
ヨリ太子ヲ本尊トシテ。太子堂トハ呼ヒナラハ
セリト云。
堂一字 太子堂ノ右ニアリ。三間四方。秩父坂東
西國ノ百觀音及ヒ地藏ヲ安ス。

舊家

百姓勘平 先祖ハ甲州武田家ノ臣土屋右衛門尉
直村ノ三男ニテ。土屋越後守宗昌ト号ヒシガ。天
正十七年當村へ來リテ農民トナレリト云。家ニ
古キ鎗一筋。薙刀一振。及家系ヲ所持セリ。マリハ
直鎗ニテ總長サ五寸八分柄九尺ハカリ。薙刀ハ
身ノ長サ一尺三寸五分モノニ會ヒシトミエテ
又三四ヶ所缺テアリ柄ハ五尺六寸。イツレモ赤
銅ノカナモノ鐫ハ鉄ナリ。皆無銘モノニテ最古

色ニニハタリ。

新編武藏風土記卷之一百十五終

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 色, 風, 土, 記, 卷, 一, 百, 十, 五, 終]

